

さいたま経済探訪

日本銀行は今日9日に「地域経 済報告」(Regional Report)を公表しました。全国9地域の景気に ついて、前回(昨年10月)と比較 すると、東北と北陸で判断を引き上 げ、ほかの7地域では判断を据え 置きました。一部に弱めの動きも みられますが、全ての地域で景気 は「緩やかに回復」「持ち直して」「緩やかに持ち直して」としてしま います。

このうち、埼玉県を含む関東甲 信越の景気については前回の「一 部に弱めの動きもみられるが、緩 やかに回復して」として判断

を維持しました。項目別には、生 産は「弱めの動きとなっている」 から「横ばい圏内の動きとなつて いる」と判断を引き上げました が、そのほかの項目については、 全この判断を据え置きました。設 備投資は「増加している」、個人 消費は「物価上昇の影響などがみ られるものの、インバウンド需要 による押し上げ効果もあって、緩 やかに増加している」、住宅投資 は「弱めの動きとなっている」と 前回と同じ判断としています。

設備投資意欲堅調

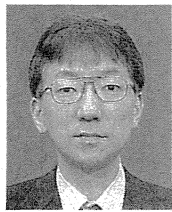
■設備投資意欲堅調
県内経済をみると、設備投資は、

日本銀行調査統計局
調査主幹・埼玉県経済総括
清水雅之

関東財務局の調査では前年度比ブ ラス8.6%と引き続き増加計画 となっているほか、設備判断B S Iが「不足超幅を拡大しており、 企業は設備投資意欲は堅調に見受 けます。企業からの声をお聞きし、 ように思われます。」

足元の県内景気

ても、建設コストの上昇や工事業 者の人手不足などによる投資の遅 延などが一部でみられるものの、 続きみられるものの、賃上げがづ



しみず・まさゆき 1965年生 まれ。東京大学経済学部卒。88年日 本銀行入行。政策委員会企画部(審 議委員スタッフ)、調査統計局企画 部、内閣府政策企画調査部(統計委 員会担当室、国民経済計算部)など を経て、2016年4月9日現職。

業績改善を受けた増投資や新規 出店投資の増加に加えて、人手不 足対応・生産性向上のための省力 化・デジタル投資に前向きに取り 組むスタンスに変化はみられない けす。企業からの声をお聞きし、 ように思われます。」

向を指摘する声が聞かれていま す。

■中小賃上げの声に傾聴
今後も物価高の影響や、賃金動 向などを注視していく必要がある と考えられます。足元の県内の賃 金前年比がしっかりとしたプラス で推移する中、今春の賃上げにつ いて、一部の中小企業から収益が 厳しく賃上げ余力はないとの声も 聞かれています。幅広い業種や 規模の企業から人材確保のためにも前向きに対応するとの話が聞か れています。賃上げを巡る動きの ほか、人件費増加分の転嫁も含め た企業の価格設定スタンスや、物 価高を踏まえた家計の消費行動な どについて、引き続き、県内企業 などの皆さまからお話を十分にお 伺いし、県内景気の正確な把握に 努めていきたいと思えます。